平成29年度 再評価委員会

路線名:一般県道 嬉野下宿塩田線

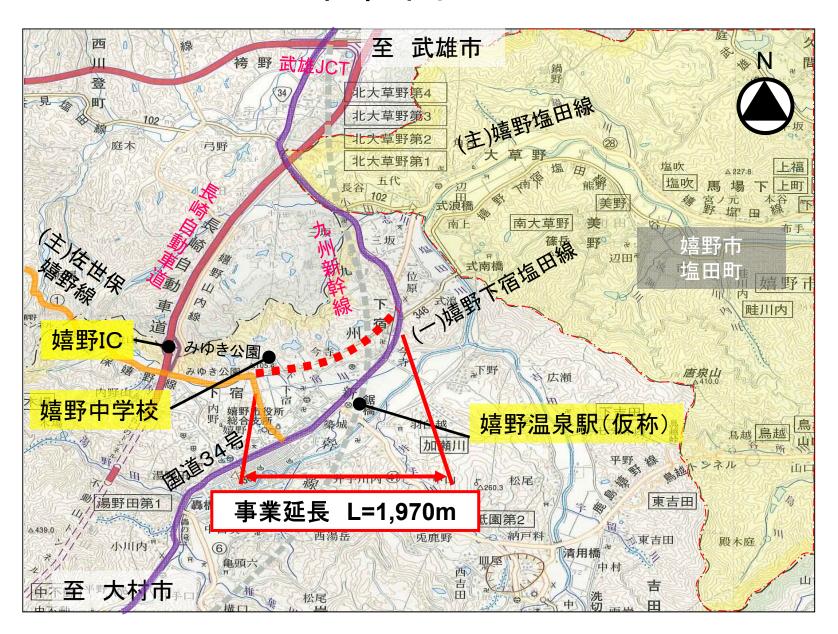
(下宿工区)

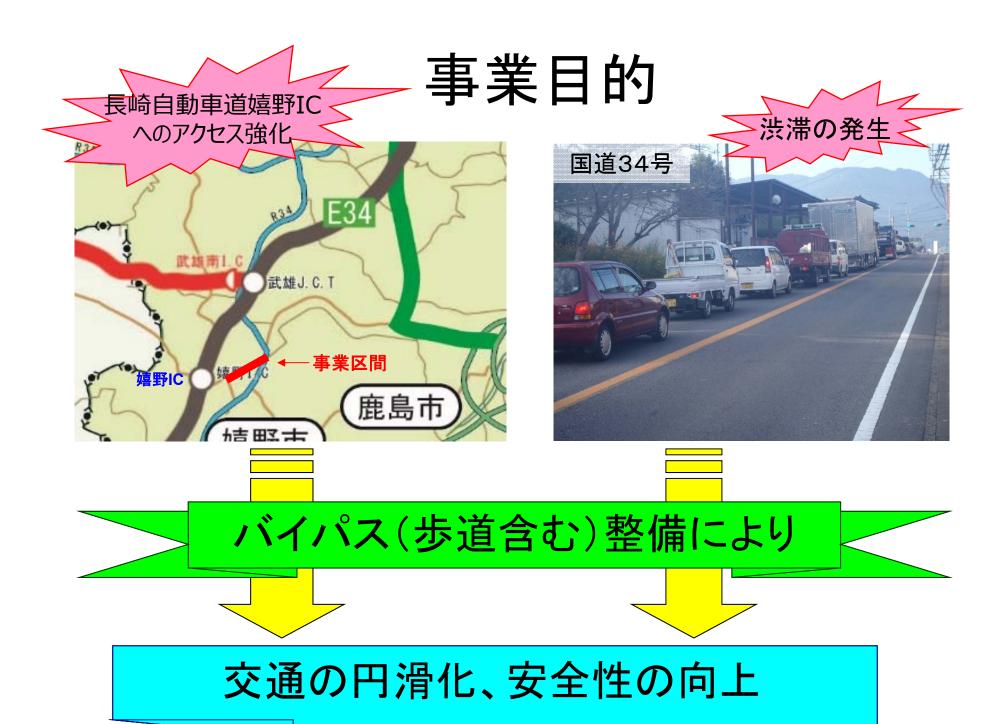
事業名:道路整備交付金事業

事業地:嬉野市嬉野町下宿

(再評価実施後5年が経過)

位置図





事業概要

● 全体事業費:24.7億円

● 工 期:平成15年度~平成31年度

● 全体延長:L=1,970m

● 事 業 内 容:改良工 L=1,970m

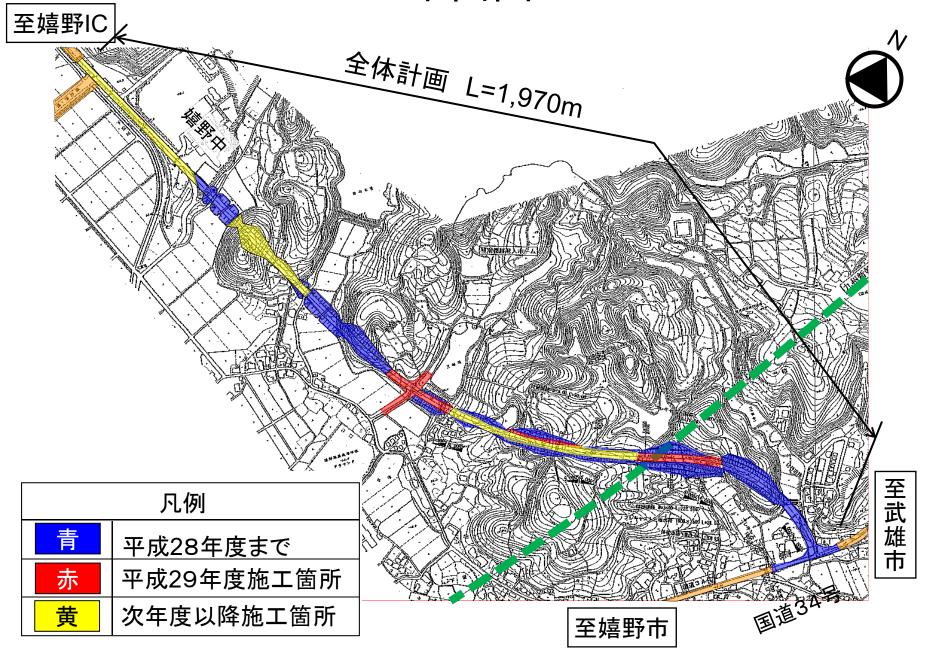
舗装工 L=1,970m

測試 1式 用地補償 1式

事業の進捗状況

	平成28年度まで	平成29年度	平成30年度以降
事業費(億円)	18. 0	1. 2	5. 5
進捗率(%)	72. 8	77. 8	100. 0
用地進捗率(%)	100. 0	100. 0	100. 0

平面図



平成29年 現地状況



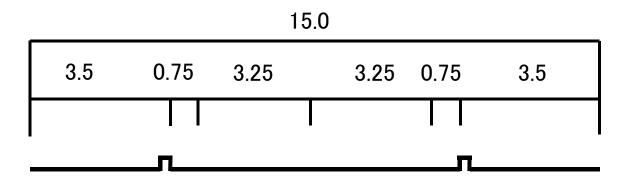






横断図

計 画



事業を巡る社会経済情勢等の変化

・ 嬉野市への観光客数は増加傾向にあり、嬉野ICへのアクセス道路の整備により利便性の向上が期待される。

・ 九州新幹線西九州ルートの開業に伴い、近傍に嬉野温泉駅(仮称)が整備されることから、駅を中心とした新たな市街地形成が図られる。

費用対効果の要因の変化

• 全体事業費増額と工期延伸による費用便益費の減。

費用便益比(B/C) = 61.5/29.8=2.06

• 【便益】

走行時間短縮便益 = 48.3億円

走行経費縮小便益 = 9.4億円

交通事故減少便益 = 3.8億円

合計 61.5億円

【費用】

事 業 費 = 28.6億円

維持管理費= 1.2億円

合計 29.8億円

基準年(平成29年度)における現在価値

コスト縮減や代替案等の可能性

(コスト縮減)

- 再生資材の利用促進を図っている。
- 工事で発生する残土を盛土等に流用する。

(代替案の検討)

特になし

対応方針(事業課案)

当該事業箇所はバイパスによる整備であるため、整備効果を発現するためには、事業の継続が必要である。

当該箇所の事業の必要性に変化がなく、交通の円滑化と交通安全を図るため、事業を継続したい。